

# 大型ブロック積擁壁

側溝・水路類

擁壁類

カルバート類

ヒューム管・推進管

マンホール類

道路製品

集水樹類

その他の製品

NEPI工業会製品

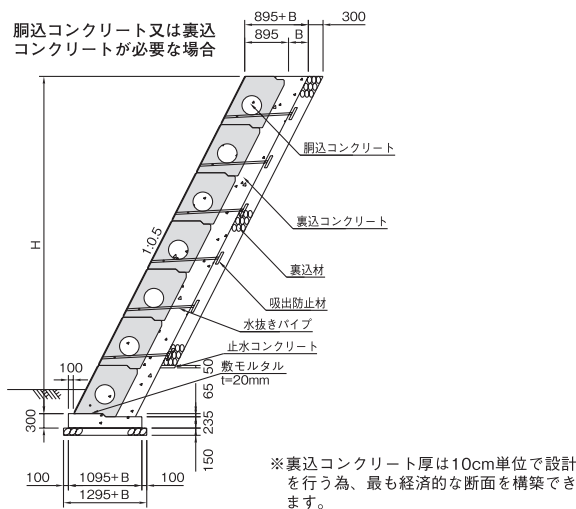
## 設計と施工

- 根入れは、用途(道路、河川等)によって従来の擁壁と同じ考え方で設計してもらえば良いのですが、短区間で縦断勾配に変化がある場合は、各種基準に従い最小根入れを確保して一定勾配にするか、高さ調整の異形タイプを使いながら階段状にする等の方法があります。
- 練積みの場合の伸縮継手目地(間隔)も、従来の同形態の擁壁と同じ考え方で設計して下さい。  
〈基準例:国土交通省10m、NEXCO20m〉
- 空積みの場合の扶壁部に埋め戻しする碎石は設計条件に合致する様、必要に応じてプレートランマー(ビブロプレート)等で1ブロック高さ当たり2~3層(50~30cmまき出し厚)に分けて転圧して下さい。
- 基礎及び天端コンクリートの寸法、形状は現場の諸条件に合わせて決定して下さい。

## SPブロック積み上げ方法参考断面図

施工断面は背面の地山または盛土の土質・地形条件から安定計算により下図のように決定します。尚、基礎形状は支持地盤の条件によっては安定計算を行い、変更することもあります。

### SPブロックⅢ-1型



## 参考歩掛

延長100m(50列)、高さ7.0m(7段)、面積=782.6㎡当り(1:0.5)

工種	名称	規格	単位	数量	摘要
SPブロックⅢ-1	本体	A型(L=2.0m H=1.0m)	個	350	
据付工 ※注(2)	重機 ※注(1)	ラフテレーンクレーン(16t吊)	日	15.22	23個/日据付
	世話役		人	7.61	0.5人/日
	特殊作業員		人	22.83	1.5人/日
	普通作業員		人	38.05	2.5人/日
	諸雑費 ※注(3)		式	1.00	労務・クレーン賃料合計2%
胴込工 ※注(5)	胴込材 ※注(4)	コンクリート	m <sup>3</sup>	450.45	(材・工共)
	吸出防止材	不織布(300×300×10mm)	m <sup>2</sup>	54.00	
掘削、埋め戻し、諸経費は除きます。					
基礎工、天端工は別途計上して下さい。					

※注(1)使用重機は現場条件に合わせて下さい。  
 ※注(2)当カタログ記載ブロックの据付工は全て同じで、胴込工は含みません。  
 ※注(3)諸雑費は敷モルタルの材料・均し費用であり、労務費、クレーン賃料の合計額に2%を乗じた金額を上限として計上して下さい。  
 ※注(4)胴込材の数量は各ブロック別胴込量P125、126、127を参照して下さい。  
 ※注(5)別途裏込材、裏込コンクリート、止水コンクリート、水抜きパイプ等を計上して下さい。